

## I 公開講座

毎年、市民向けの様々な公開講座を、本学および岐阜市生涯学習センターにおいて開催している。平成31年度に本学が実施した公開講座は以下のとおりである。

	講座名	担当教員	日時・会場	受講料	定員	受講者	
岐阜市生涯学習センターとの連携講座	認知症の理解のために 認知症のサインとは？	食物栄養学科 教授 高橋 秀典	6月15日(水) 10:00～11:30 ハートフルスクエア-G2階大研修室	500円 (全2回)	50名	60名	
	認知症の理解のために 認知症の予防によいこととは？		6月22日(水) 10:00～11:30 ハートフルスクエア-G2階大研修室		50名	60名	
社会・文化	映画音楽の楽しみ -『太陽がいっぱい』1960-	本学 名誉教授 山本 健一	5月25日(土) 10:00～11:40 本学 1-408	1,000円	3 講座ま とめて 三千円	20名	11名
	詩人としての曹操	学長 杉山 寛行	7月20日(土) 10:30～12:00 ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ	1,000円		20名	8名
	神との交流、神への願い —沖繩・伊良部島での調査から—	国際文化学科 教授 川上 新二	7月27日(土) 10:30～12:00 ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ	1,000円		20名	7名
	カナダ・ケベック州における新しい社会統合理念 —間文化主義—について	国際文化学科 講師 荒木 隆人	8月3日(土) 10:30～12:00 ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ	1,000円		20名	11名
	第二次世界大戦の行方 -アジア戦線日米決戦-	本学 名誉教授 山本 健一	9月14日(土) 10:30～12:00 ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ	1,000円		20名	16名

	講座名	担当教員	日時・会場	受講料	定員	受講者
生活デザイン講座	ストローで強い橋を作ってみよう —橋の仕組みを楽しく学ぼう—	生活デザイン学科 教授 服部 宏己	6月22日(土) 10:00~12:30 ぎふメディアコスモス あつまるスタジオ	無料	10名 (親同伴 15名)	8名
	羊毛織機でコースターを作ろう	生活デザイン学科 准教授 太田 幸一	7月13日(土) 13:30~15:00 ぎふメディアコスモス あつまるスタジオ	高校生以下受講 料無料 受講料1,000円	15名	2名
	レンジで羊毛を虹色に染めフェルト小物を作ろう	生活デザイン学科 助教 柴田 佐和子	8月24日(土) 10:30~12:00 本学 3-507	高校生以下受講 料無料 受講料1,000円	15名	14名
	「遊び」とデザイン ~ヨーロッパのおもちゃを中心に~	生活デザイン学科 准教授 小川 直茂	9月14日(土) 13:30~15:00 ぎふメディアコスモス あつまるスタジオ	高校生以下受講 料無料 受講料1,000円	15名	10名
	グルーガンでマスク(仮面)をつくろう	生活デザイン学科 准教授 奥村 和則	10月26日(土) 13:30~15:00 本学 3-405(デッサン室)	高校生以下受講 料無料 受講料1,000円	15名	6名
	こわくて光る鬼のお面をつくろう! -蓄光絵具をつかった鬼面制作-	生活デザイン学科 講師 坂本 牧葉	1月25日(土) 13:30~15:00 ぎふメディアコスモス あつまるスタジオ	無料	10名	8名
資格試験対策講座	管理栄養士国家試験受験対策講座	食物栄養学科 教員	9月24日から11月5日まで (10月22日省く) 毎週火曜日 計6回 19:00~21:00 本学 1-401	1,500円/回	20名	32名
	繊維製品品質管理士(TES)受験対策講座	生活デザイン学科 准教授 太田 幸一	10月~7月の原則第2金曜日 19:00~20:50 全10回(うち平成31年度は6回) 本学 3-505  ※3月は新型コロナウイルス感染症の感 染拡大防止のため中止	1,500円/回	20名	5名
	繊維製品品質管理士(TES)受験対策講座(30年度分)	生活デザイン学科 准教授 太田 幸一	10月~7月の原則第2金曜日 19:00~20:50 全10回(うち平成30年度は3回) 本学 3-505	1,500円/回	20名	17名
生デ特別講義	暮らし・デザイン・新時代	外部講師 喜多 俊之	6月3日(月) 16:20~17:50 本学 1-501	無料	-	112名
	ファッション×美術館×アート	外部講師 中村 圭美	9月30日(月) 16:20~17:50 本学 1-501	無料	-	113名

## 1) 岐阜市生涯学習センターとの連携講座

### 公開講座 1-2 認知症の理解のために①② (全2回)

講師名：食物栄養学科 高橋 秀典

開催日時：令和元年6月15日、22日(土) 10:00~11:30

会場：ハートフルスクエア-G 2階 大研修室

受講者数：約60名

2週にわたり、認知症の基本的症状や早期に見られやすい症状、心理状態など認知症の理解のための基本な事柄について、さらに予防によいといわれている最新の知見について講演した。



## 2) 社会・文化

### 公開講座3 映画音楽の楽しみ

#### — 『太陽がいっぱい』 1960 —

講師名：英語英文学科 名誉教授 山本 健一

開催日時：令和元年5月25日（土）10：00～11：40

会場：岐阜市立女子短期大学

受講者数：11名

フランス・イタリア合作映画『太陽がいっぱい』のアラン・ドロンの魅力とニーノ・ロータの名曲を鑑賞しながら、映画音楽とナポリ民謡の華やかな世界を受講者とともに楽しむことができた。

アラン・ドロンは1960年、ルネ・クレマン監督『太陽がいっぱい』に主演。ニーノ・ロータの曲と共に大ヒットし、世界的にその名を知られる。その後もクレマン監督作品など、数多くのフランス映画・イタリア映画・アメリカ映画に出演し、自身出演する作品のプロデュースも手がけるなどして活躍した。

甘いマスクに加え、世間に背を向けたニヒルな役柄などで世界のファンを魅了し、「史上最高の美男俳優の一人」と言われている。脇役（モーリス・ロネ、ジャン・ギャバン、ジャンポール・ベルモンド、リノ・バンチュラなど）にも助けられて、光り輝く主役の地位を築いている。

ニーノ・ロータ作曲の『太陽がいっぱい』は、差別と貧困に晒された環境に育ったがゆえに、富への嫉妬と憎しみ、そして成功への燃えるような欲望と憧憬を身にまとった若者アラン・ドロンが、もがき苦しみながらもつかみ取ったかに見えた、つかの間のはかない夢と富と達成感と挫折をクールに表現し、聴く者の心を虜にする哀愁のメロディである。映画音楽史上に金字塔を打ち立てたニーノ・ロータ畢竟の名曲である。

さらに、「ナポリ民謡」（カンツォーネ・ナポレターナ）とは世界最古の歌謡史を持つナポリ歌謡である。長い歴史に育まれた歴史的・文化的要素を表現した歌曲は現在も世界中の歌手達に歌われており、「オ・ソーレ・ミオ」や「帰れソレントへ」等に代表される音楽文化である。ナポリは現在でも商業港や観光地として隆盛を極めると同時に、優れた作詞家、作曲家、そして歌手を輩出し、不朽の名作を次々に生み出している。

地域社会を支える教育機関として、岐阜市立女子短期大学が持つ知識や技能を岐阜市民の方々に還元することを目標に、今後も市民公開講座を担当し、生涯学習推進の一助としたい。

## 公開講座4 詩人としての曹操

講師名：学長 杉山 寛行

開催日時：令和元年7月20日（土）10：30～12：00

会場：ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ

受講者数：約20名

中国の詩史のなかで、五言詩の作者として最初に位置する詩人は、魏の曹操（武帝）、その子曹丕（文帝）・曹植（陳の思王）とみなされています。

五言詩という形式は、漢代から後漢の時代にかけて登場したと言われていますが、これまでの古代の五言詩の中で歌われてきた抒情性は、時間の不可逆さに伴う世界の無常性、そこに生きる人間の卑小さを核に生まれたものでした。曹操らは、こうした抒情詩を形式、内容ともに一層成熟した詩形として、しかも詩史の上で最初に個人の名を附した形で世に残した、という点で注目されます。

曹操は史書『三国志』の中では、冷酷な政治家としての一面をみせていますが、時代が要請する政治家としての一面と、抒情詩の作家としての曹操の絡まりを、建安（156－220）という時代を背景に解きほぐしてゆくことが、本講座の目的です。

## 公開講座5 神との交流、神への願い —沖縄・伊良部島での調査から—

講師名：国際文化学科 教授 川上 新二

開催日時：令和元年7月27日（土）10：30～12：00

会場：ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ

受講者数：約7名

沖縄の宮古群島に属する伊良部島は在来の信仰形態が残されている地域の一つとして知られている。この講座では、伊良部島の佐良浜地区で実践されている信仰の様子を紹介した。

佐良浜には、地域の安寧を祈る祭事を担当する女性宗教者と、各家での祈願を行う宗教者（多くが女性）とがいる。前者はクジで選ばれ、任期は3年である。後者は生まれながら神霊と交流する能力をもつとされる者が務めるが、宗教者となるまでには神霊からの影響や指示で、心身の変調に悩まされたり聖地巡りなどをさせられたりする。一方、地域の祭事を執行するためにクジで選ばれる女性宗教者の中にも、生まれながら神霊と交流する能力をもち、任期終了後には各家での祈願を行うようになる者もいるが、彼女たちは神霊からの影響や指示に悩まされることはない。

同じく生まれながら神霊と交流する能力をもつ者であっても、神霊に振りまわされる者と神霊に振りまわされることない者とがいる。後者は自らも地域祭事を担当する宗教者いわば公的な宗教者としての経験をもち、また公的な宗教者を務めたことのある先輩たちからもそれぞれの経験を学びながら活動している。佐良浜では地域社会での公的な宗教者として活動した経験のある人々から学んだり自らも公的な宗教者を経験したりした者は神霊に振りまわされることなく宗教者になる一方、地域社会での公的な宗教者とかかわることのない宗教者は神霊に振りまわされることになるとみられる。

## 公開講座6 カナダ・ケベック州における新しい社会統合理念 —間文化主義について—

講師名：国際文化学科 准教授 荒木 隆人

開催日時：令和元年8月3日（土）10：30～12：00

会場：ぎふメディアコスモス

受講者数：約11名

2018年12月の「出入国管理及び難民認定法」改正によって多文化共生社会に向かう日本の課題は、国家としての明確な移民政策をもつことである。そのためにまず必要なのは、諸外国の移民政策を参考にすることである。これまでは、カナダ連邦政府の移民政策の理念としての多文化主義が多文化共生の理念として世界でも注目されてきたが、他方で（特にヨーロッパでは）、多文化主義は社会の断片化をもたらすとして批判も生じている。

そこで、本講義では、近年、多文化主義に代わって新しい社会統合理念としてカナダ及びヨーロッパにおいて注目されるようになった間文化主義について、その内容を間文化主義を移民政策の理念として取り入れたカナダのケベック州を事例に紹介した。間文化主義は移民などの受け入れ社会の文化と移民などの少数文化との間のお互いの尊重を図るだけでなく、積極的な文化間交流を通じて、その社会の新しい共通文化をつくりだすことで統合を図っていくとする思想である。ケベック州の具体的な政治的事件を検討しながら、この間文化主義の実施に際して特に重要になるのは、受け入れ社会が少数文化集団の文化に対して寛容な姿勢をとることであることを明らかにした。講義後は、受講者からの活発な議論が行われた。

## 公開講座 7 第二次世界大戦の行方 —アジア戦線日米決戦—

講師名：英語英文学科 名誉教授 山本 健一

開催日時：令和元年9月14日（土）10：30～12：00

会場：ぎふメディアコスモス

受講者数：16名

第二次世界大戦（アジア戦線＝太平洋戦争）の歴史的経緯を紹介し、日米決戦の軍事的戦略の側面にも言及しつつ、太平洋戦争がいかなる戦争であったのかを検討した。

アメリカ政府の方針として、ルーズベルト大統領は日本の膨張的アジア進出を警戒し、当時米国の国務長官であったコーデル・ハルの「合衆国及び日本国間の基礎概略」（1941年11月26日アメリカ提案として）において、日本に対し大陸における権利・財産・領土等の全てを放棄すべきと要求した。日本は、米、英、中、蘭国により、石油・ゴムといった資源のほとんどを供給停止状態に追い込まれ（A B C D包囲網）、資源・物資・大陸での正当な権益と、米国にある日本の資産を放棄すべきと要求された。

当時、日本政府は、中国・東南アジアへの侵略的領土拡大を進めていた。米、英、中、蘭国（A B C D包囲網）による対日経済制裁（航空機用ガソリンや屑鉄の禁輸など、1941年8月）を受け、アメリカ政府からのハル・ノート（1941年11月26日）による最後通牒的要求を拒絶し、1941年12月8日、ハワイ真珠湾を奇襲攻撃し、開戦にいたった。

1942年ミッドウェー海戦（6月）：日本海軍機動部隊の大敗北であり、太平洋戦争のターニングポイントとなった。1944年レイテ（フィリピン）沖海戦（10月）：特攻作戦（カミカゼ：神風特別攻撃隊）。1945東京大空襲（3月）：325機のB29による焼夷弾を用いた大規模な無差別爆撃。1945年沖縄本土戦（3月）：日本本土爆撃のための航空基地確保と、日本本土進攻の補給基地の確保が目的。日本側の死者・行方不明者は18万8136人。1945年広島、長崎の被爆（8月）：広島は死者・行方不明合わせて12万2338人、長崎は、死者行方不明合わせて7万3884人とされている。被爆後5年間の間に広島で約20万人、長崎で約14万人の死者を数える。1945年終戦（8月）：日本の無条件降伏。

受講者の約8割はシニア世代の方々であり、歴史に対する関心が高く、熱心に受講されていた。今後とも高齢者を含めた公開講座を開講し、生涯学習の意義を高める社会貢献の一端を担うことができると考えている。



### 3) 生活デザイン講座

#### 公開講座8 ストローで強い橋を作ってみよう —橋の仕組みを楽しく学ぶ—

講師名：生活デザイン学科 教授 服部 宏己

開催日時：令和元年6月22日（土）10：00～12：30

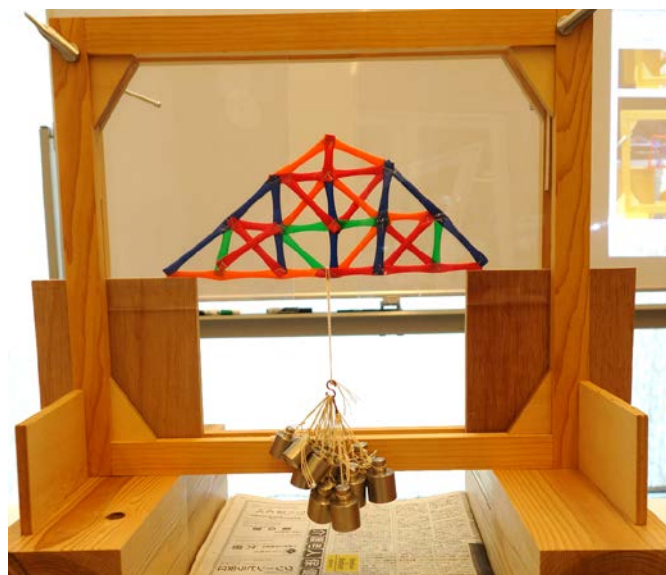
会場：ぎふメディアコスモス あつまるスタジオ

受講者数：8名

本講座は、小学生を主とし、建築物（構造物）がどのような仕組みで剛強に造られているかを知り、構造物に興味を持ってもらうことを目的として毎年開催している。身近で構造が明快な橋梁を対象物とし、手順は以下の通りである。

- ①橋梁の種類や仕組みを写真や図を用いて分かり易く説明する。
- ②一人ひとりが橋の設計をし、方眼紙に設計図を書く。構造面に加え、様々な色のストローを使用することによって、デザインにもこだわった橋を設計する。
- ③細くて弱いストローを用いて、橋の模型（ストロー橋）を制作する。
- ④自分自身で制作した橋の載荷実験\*を行い、何kgの重りに耐えられるか計測する。

多くの子供たちが、弱々しく見えたストロー橋が予想を上回る重さに耐えられる状況を見て驚きを示す。今年は、2200gの荷重に耐えた橋が最大であった。この体験を通して、少しでも構造物に興味を湧くことを期待したい。



ストロー橋の実験状況\*

\*：載荷実験装置は、函館工業高等専門学校「作って競って楽しめるストロー橋の強度試験装置」を参考としている。

## 公開講座 9 羊毛織機でコースターを作ろう

講師名：生活デザイン学科 准教授 太田 幸一

開催日時：令和元年7月13日（土）13：30～15：00

会場：ぎふメディアコスモス あつまるスタジオ

受講者数：2名

通常の織機はたて糸とよこ糸が直交し四角形の織物を作成するが、円形織機はたて糸相当の糸を円形フレームに放射線状に張り、その糸の間によこ糸相当の糸を織り込んでいくもので、文字どおり円形の織物を作成するものである。ドイツなどを中心にハンドクラフトの分野で注目されていることから、今回円形織機を用いたワークショップを企画した。参加者には刺繍枠を加工した円形織機を用いてコースターの作成と、応用編として小物入れの作成にも取り組んでもらった。

円形織機は参加者に持ち帰ってもらい、自宅などでもコースター・小物入れなどの作成が楽しめるようにした。

## 公開講座10 レンジで羊毛を虹色に染めフェルト小物を作ろう

講師名：生活デザイン学科 助教 柴田 佐和子

開催日時：令和元年8月24日（土）10：30～12：00

会場：岐阜市立女子短期大学（3-507）

受講者数：14名

講座の前半で羊毛繊維の特徴と染色技法に関するレクチャーを行った後、後半のワークショップで参加者がそれぞれ自由な感覚で羊毛をレンジ染めし、染めあがった羊毛をフェルト化させてペーパーウェイトやブローチなどの小物を制作した。講座参加者は、講義およびワークショップでの体験を通じて、繊維の素材特性や着色方法について学んでいる様子うかがえた。

## 公開講座 1 1 「遊び」とデザイン ～ヨーロッパのおもちゃを中心に～

講師名：生活デザイン学科 准教授 小川 直茂

開催日時：令和元年9月14日（土）13：30～15：00

会場：みんなの森 ぎふメディアコスモス あつまるスタジオ

受講者数：10名

スイス・ネフ社の積み木や玉の道おもちゃのキュボロなど、ヨーロッパの優れたおもちゃが備える遊びの特性を、おもちゃの「形」「機能」「素材」「つくり（品質）」などのデザインの側面から、実例を交えて解説した。講座の後半では実際におもちゃに触れる形式のワークショップを行い、講座参加者はおもちゃが持つ遊びのポテンシャルについて理解を深めていた。



## 公開講座 12 グルーガンでマスク（仮面）をつくろう

講師名：生活デザイン学科 准教授 奥村 和則

開催日時：令和元年 10 月 26 日（土）13：30～15：00

会場：岐阜市立女子短期大学

受講者数：6 名（制作補助を兼ねた保護者数 4 名）

本来、接着剤であるグルーガン（グルースティック）を主材料に舞踏会に用いるマスク（仮面）を制作し、大学祭への参加を促した。高校生以下を主たるターゲットとしていたが、一般からの希望もあり、幅広い年齢層が対象となった。

グルーガンの主成分である E V A は、熱可塑性樹脂の一種であり、およそ 80 度に達したときに軟化し、適度な粘度性と流動性を持つことからクラフト等での接着材として用いられる。本講座はこの特性を活かし、線形材と面材の役割を持たせ、モデリングしてもらうこととした。

受講者には全体の流れを把握してもらうために、全工程をホワイトボードにて提示し、受講生による進捗の差が生じても、すべきことをわかりやすくした。また、このワークショップを通し、アレックス・オズボーンのチェックリスト法など創造的発想法についても解説を行った。



制作風景



受講者作品

### 公開講座 13 こわくて光る鬼のお面をつくろう！ -畜光絵具を使った鬼面制作-

講師名：生活デザイン学科 専任講師 坂本 牧葉

開催日時：令和2年1月25日（土）13：30～15：00

会場：ぎふメディアコスモス あつまるスタジオ

受講者数：約8名

節分の豆まきで使う鬼の面を、畜光絵具・粉末、紙皿などを用いて制作した。受講者はいずれも小学生以下で、配布された顔のパーツを使用しながら、自身の思う「こわい鬼」を考え、制作に取り組んだ。目やキバ、顔面など、光ると面白いと思われる箇所を考え、蓄光粉末を混ぜた絵具や蓄光塗料を塗った。それぞれのユニークな表現で、魅力的なこわい鬼が仕上がった。



## 4) 資格試験対策講座

### 公開講座 14-19 管理栄養士国家試験対策講座

講師名：食物栄養学科の教員

開催日時：令和元年9月24日（火）～11月5日（火）19：00～21：00

〔毎週火曜日（10月22日を除く）、全6回〕

会場：岐阜市立女子短期大学（1-401）

受講者数：のべ32名

毎年、管理栄養士国家試験の受験対策の一助になればと考えて、本学において管理栄養士国家試験受験対策講座を開講している。

各教員が自分の専門分野に関して、過去に出題された国家試験の問題を題材に、出題の傾向と対策について、わかりやすく解説を行った。

受講生には、本学の卒業生のほか、他大学を卒業された方もいた。各講座終了後に実施した受講生に対するアンケート調査によると、受験対策講座は受講生に好評であった。

回数	開講日	科目（内容）
第1回	9/24	基礎栄養学 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち（生化学）
第2回	10/1	社会・環境と健康（公衆衛生学） 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち（解剖生理学）
第3回	10/8	食べ物と健康（食品学・食品加工学）
第4回	10/15	食べ物と健康（食品衛生学・調理学）
第5回	10/29	栄養教育論、公衆栄養学
第6回	11/5	臨床栄養学、応用栄養学

## 公開講座 20-25 繊維製品品質管理士（TES）受験対策講座

講師名：生活デザイン学科 准教授 太田 幸一

開催日時：平成31年4月12日（金）～令和元年7月12日（金） 19:00～20:50

令和元年10月11日（金）～令和2年3月13日（金） 19:00～20:50

会場：岐阜市立女子短期大学 生活デザイン Lab1 (3-505)

受講者数：17名

「繊維製品品質管理士（TES）」は、繊維製品を取り扱う専門家に与えられる資格で、アパレル製品生産・管理分野での技術者には重要な資格となっている。7月に行われる試験に向け、月1回、全10回の試験対策講座を計画し、昨年10月からの開講分に引き続き4月から7月までの4回実施した。「家庭用繊維製品の流通、消費と消費者問題に関する知識」「事例研究対策」「論文試験対策」について、実際の事例を交え解説を行った。17名の受講生は7月の試験を受験し、多くの受講者が5科目中3科目の合格となった。残りの2科目については次年度再受験の予定である。

また、今年度新規分として、10月から3月までの6回実施した。10月からの講座では、岐阜市周辺の地元アパレル企業の技術者1名が参加し、「繊維に関する一般知識」「家庭用繊維製品の製造と品質に関する知識」について、出題傾向を示しながら要点の解説を行うとともに、実際の業務内容で生じた事例についても解説を行った（3月分は延期）。なお、4月以降は上述の前年度受講生が再受験科目分の受講を予定している。なお、受講生は7月の試験を受験予定である。



## 5) 生活デザイン学科特別講義

### 公開講座26 喜多俊之特別講義「暮らし・デザイン・新時代」

講師名：喜多 俊之（デザイナー・プロデューサー、大阪芸術大学教授）

開催日時：令和元年6月3日（月） 16:20～17:50（開場 16:00）

会場：岐阜市立女子短期大学 大講義室（1-501）

受講者数：学生99名、一般13名、生活デザイン学科全教員

今年度、前期の特別講義は、大阪芸術大学教授の喜多俊之氏を講師にお迎えし、様々な観点からデザイン学の理解を深める講義をしていただいた。

喜多俊之氏がイタリアと日本、また世界的にデザイン製作されている活動や実績、さらに、インテリアデザインや地場産業・伝統工芸をプロデュースされたデザイン活動などを紹介していただいた。

喜多俊之氏が考えるデザイン学のこだわりや機能性の追求、また、日本各地の伝統工芸・地場産業の活性化、およびクリエイティブに発信されるデザイン活動についての講義に、学生達はより深くデザイン学を学ぶことができたと考える。

KITA  
TOSHIYUKI  
SPECIAL LECTURE 6/3 MON 16:20-17:50  
『暮らし・デザイン・新時代』

日時 6月3日(月)16:20-17:50(開場16:00) 会場 岐阜市立女子短期大学 5F 大講義室 1-501

喜多 俊之 デザイナー・プロデューサー

1969年よりイタリアと日本でデザインの制作活動を始め、作品の多くがニューヨーク近代美術館など世界の多くのミュージアムにコレクションされている。日本各地の伝統工芸・地場産業の活性化、およびクリエイティブ・プロデューサーとして多方面で活躍する。日本だけでなく、ヨーロッパ、アジアなどで、セミナーやワークショップを開く等、教育活動にも力を入れている。大阪芸術大学教授、イタリア「黄金コンパス賞（国際功労賞）」、「イタリア共和国功勳章コンメンタートーレ」勲章、著書「デザインの力」、「地場産業+デザイン」、「デザインの探検」などがある。

【特別講義に関するお問い合わせ】  
岐阜市立女子短期大学 生活デザイン学科（担当 中谷）  
岐阜市一日市場北側7番1号 TEL. 058-296-3131  
<http://www.gifu-cwc.ac.jp/>

## 公開講座 27 中村圭美特別講義「ファッション×美術館×アート」

講師名：中村 圭美（神戸ファッション美術館・学芸員）

開催日時：令和元年9月30日（月） 16:20～17:50（開場 16:00）

会場：岐阜市立女子短期大学 大講義室（1-501）

受講者数：学生 110 名、一般 3 名、生活デザイン学科全教員

今年度、後期の特別講義は、神戸ファッション美術館・学芸員の中村圭美氏をお迎えして「ファッション×美術館×アート」と題した講義を開催した。

ファッションの歴史において貴重な資料をスクリーンで鑑賞させていただき、ファッション資料における美術館の位置づけ、また、ファッションの観点から表現するストーリー性と表現方法などを御教授いただいた。歴史上のファッション資料は、現在では大変貴重であり、素晴らしい技法や技術などが認識できた。

学生たちはファッションの詳細なデザインや表現方法の理解を深めたと考える。

The poster features a background of overlapping pink and red diamond shapes. The title 'ファッション × 美術館 × アート' is written in large yellow characters, with '×' symbols connecting the words. The date and time '9/30 (月) 16:20-17:50' are prominently displayed in white on a black background. The venue '岐阜市立女子短期大学 5階 大講義室 (1-501)' is also in white. A small logo for '岐阜市立女子短期大学 生活デザイン学科 特別講義' is in the top right. A portrait of the lecturer, Kei-mi Nakamura, is in the bottom left. Text at the bottom provides details about the lecturer's background and contact information.

岐阜市立女子短期大学  
生活デザイン学科 特別講義

ファッション  
×  
美術館  
×  
アート

9/30  
(月)16:20-17:50

岐阜市立女子短期大学  
5階 大講義室 (1-501)

講師：中村圭美（なかむら・たみみ）  
神戸ファッション美術館学芸員、立教大学大学院文学研究科比較文明学専攻修士後進課程  
単位取得退学。専門は、ジェンダー、現代アート、身体論。2011年より秋吉白濁陽芸術村・  
家長員として、アーティスト・イン・レジデンス事業を担当し、国内外のアーティストと  
関わり、その後、神戸芸術アートのミュージアムで国際展企画などを担当。2014年より  
神戸ファッション美術館にて、大阪府立女子大学との学術連携事業を兼任すると共に、  
学芸員として「服飾史講座」「スコットランドから影響のちのタータン」などを担当。

【特別講義に関するお問い合わせ】岐阜市立女子短期大学 生活デザイン学科（担当：中村）  
〒501-0192 岐阜市一白町東通1-1 TEL:050-296-3131 <http://www.gifucwc.ac.jp/>